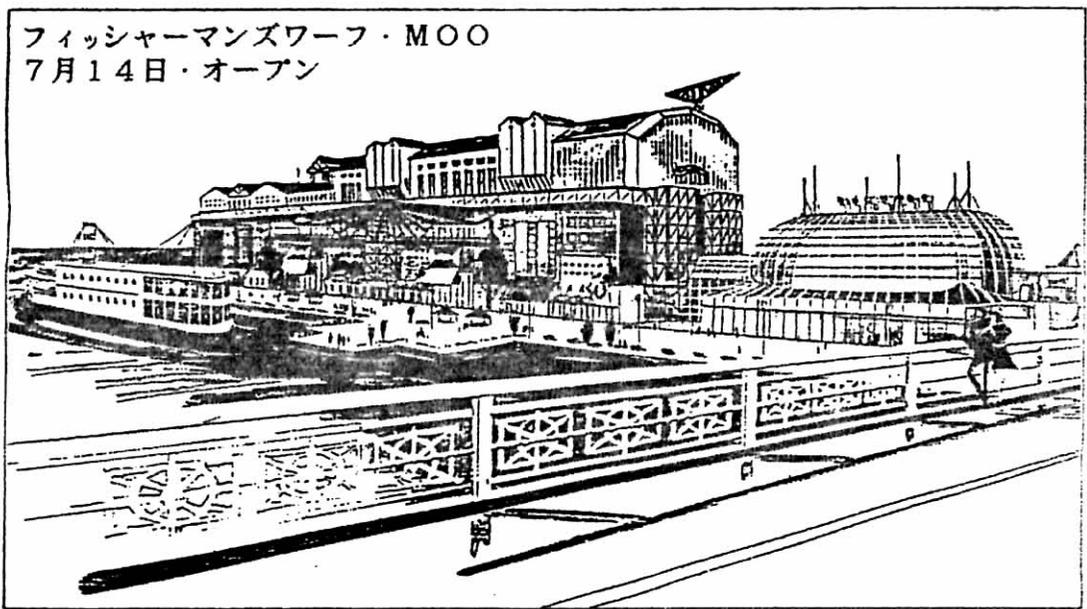


たんちよう

No. 109
8月号

HSK どうじん釧路版

編集/釧路地方腎友会



【目次】

シャント・全道集会に参加して—— 上田 弘	1
釧路腎会総会終わる	2
釧路腎会平成元年度役員	3
平成元年度総会に出席して—— 佐藤 信洋	4
全腎協事務局ニュース	5
9月・10月の行事予定	6
道腎協沖繩旅行に参加して—— 渡辺 喜久	7
藻琴山登山報告・ひと言	9
わが街・うまいもの探訪	11
クロスワードパズル	12
会員の動向	13

△王道集来会に

参加して

今年度の難病連全道集来会は、十勝の音更町において過日終了しました。

釧路から腎友会十四名、釧路支部関係十七名と保健所の保健婦さんほかが参加し、天候にも恵まれ、広い十勝平野での二日間でした。

一昨年・釧路で経験している私どもですが、何せ一番苦労したのは現地十勝の役員の方々であつたでしょう。

一年以上の準備期間、そして最後のフイナール、また終了してからの各協力者へのあいさつなど、手掛けた方でないと分からない、苦労と努力の積み重ねであつたことと思います。

十勝支部役員の皆様、本当に御苦労様でした。ゆっくり休んで身体の疲れをとってほしいと思います。

私が今回参加して感じたことを書いてみたい、それは何といつても『患者の訴え』と『記念講演』であります。

『患者の訴え』については発表する『間』が良かったと思つた。来賓あいさつの前に行った関係で、来賓の方皆さんが『患者の生の声』を聞くことができたこと

と、そして、来賓各位はそれぞれの立場で福祉について考えさせられた事であろう（今までは、来賓あいさつの後に患者の訴えを行つていたので、来賓の方はほとんどいない状態であつた。）

特に音更町長さんのあいさつが意気であつたではないですか……

普通であれば、預かつてきた管内町村会のあいさつ文を読み上げて終わる所でしょうが、この町長さんは患者の訴えに感動して、管内町村会のあいさつは読まず、出席して感激した点について、また行政の長として福祉の大切な事を訴えて頂き、私も患者・障害者も心強い感じでした。

また、記念講演での『小山内美智子』さんのお話は、今回参加した大部分の方々は、生きる事についての考え方を新たにされたのではないのでしょうか……

小山内美智子さんは車イスの障害者で身体が不自由で、唯一つ口だけが普通ではないが話せるという状態です。

その小山内さんが、『親にすがつていては大人として生きていけない』と感じたのは二十才の時であり、その頃から『いちご会』という活動を始めたようです。彼女の話の中で、

・患者運動は当事者自身が先頭になつて運動すること

・代弁福祉ではいけない……患者自身が運動しないとこのようになる

・前例を破ることが進歩につながる
など、実体験を含んだ話で、今回全道集来会に参加した大多数は、自分で自分の行動を左右出来る人達であり、この小山内さんの講演を目の前で聞いたとき、私もそうですが、今までの自分は『どうだつた』であろうと考えさせられた方が多かつたのではないのでしょうか……

健康者に任せた患者運動ではなく、患者自身が運動をし、声をあげること。そして、あたりまえの事をやっていると前進がない。型破りな事でも理解してもらいながら押し進めていくことが必要であり福祉の前進につながることを信じつつ、今後の活動に役立てたいと思います。

とりわけ全国でも一番患者数が多い私ども透析患者は、腎臓が悪いというだけで、御体満足と同じである。松葉杖・車イスなど他人の力を利用しなければ行動を起こせないという人とは違い、透析患者はまだ幸せではないだろうか。

多くの患者・障害者に出会うことにより、現在の自分の立場が理解出来るようになるでしょう……

どうか釧路地方腎友会に皆さん、他の患者・障害者と接する機会があれば、進んで参加するようにして頂きたい……

釧路会総会終わる

今年度の釧路地方腎友会総会は、六月四日・旭町の総合福祉センターにて行われた。

総会時における会長・来賓あいさつの内容は次のとおり。

△会長あいさつ

(会長代理・副会長・竹内昇)

- ・機関誌を楽しみにしている
- ・各階各層の協力で成り立っている
- ・組織の結束で強固なものに
- ・スタッフ不足・早期解決を

来賓あいさつ

(顧問・釧路市議・高橋宏政)

- ・会員の死亡が多い・寂しい思いがする
- ・健康管理に充分気をつけてほしい

・消費税は賛成出来ない・排除していかなければならない

・通院交通費は委託事業になった・額も当初より増額となった

・健康活動には積極的に取り組む

などのあいさつがあった。また、難病

連釧路支部の事務局長の紹介と、祝電・メッセージを披露し、議長には市立病院の中川篤さんと林田クリニックスの上田守さんを選出し、議事に入りました。

議事では、各役員が議案書の報告を行い、次の事項を追加・変更して、議案書どおり可決決定されました。

【追加】

平成元年度活動方針案の中で

2・活動の目標

B)組織・広報・財政の強化

⑩組織の充実、会員・各会との連絡調整を密にするため、腎友会事務局の設置に向けて取り組みます。そのために、特別会計資金の積立を行います。

【変更】

諸手当支出基準

管外諸会議出席の目安

2,000円を1,600円に変更

また、質問も多く出ました。主なものは次のとおり。

Q・通院交通費支給の会計報告は何時行

うか

A・今後発行される機関誌(たんちよう)で報告する。

Q・決算書・支出の部・決算額の負担金

A・会員数が変動しているので単純には合致しない

Q・通院交通費の支給は会員のみか。非会員はどうする

A・昨年の委託事業により、非会員にも支給出来るようになった。

Q・顧問が公明党一党なのは疑問ではないか

A・公明党という政党を選んだわけではなく、伊藤武一・高橋宏政という一人を対象をお願いしている。以前は他党の顧問もいたが、あまり協力的でなく、途中で落選したので顧問を解任した。

伊藤・高橋顧問は、釧路会設立当時より協力頂いている方なので、今後顧問として継続していく。

Q・ほかの党にも総会案内だけでも出してはどうか

A・今後、役員会などで検討していく。

Q・釧路会三役に手当を支給してはどう

か

この件については、議長さんの裁量で賛否の採決を実施した。

その結果、賛同者多数だったので、平成元年度より釧路会三役に手当を支給することになった。

方法等は、議長さんの決定で、役員に一任することになった。

最後に、新役員を別記のと
おり決定し、総会が終わりま
した。

総会終了後、通院交通費の
支給をして無事全日程を終了
した。

腎友会総会に祝電・メッセージをいただいた方々

- ◆北海道腎臓病患者連絡協議会様 ◆帯広腎友会様 ◆道南腎友会様 ◆札幌腎友会様 ◆網走オホーツク腎友会様
- ◆根室腎友会様 ◆道議会議員・伊藤武一様 ◆衆議院議員・北村直人様

通院交通費の精算報告

釧路市の通院交通費支給業務の精算報告書を、次のとおり掲載します。
何か不備な点がありましたら、どうか役員までお知らせ願います。

(第1号様式)

釧路市腎臓病患者に対する人工透析
通院交通費支給業務精算報告書

平成元年4月19日

釧路市長
藤野 保之 親啓

釧路市新富町1番7号 林田クリニック内
釧路地方腎友会
会長 上田 弘

釧路市腎臓病患者に対する人工透析通院交通費支給業務委託契約第7条1項の規定により昭和63年度の委託業務を完了したので次のとおり精算報告書を出します。

記

1. 助成金額	1,460,000円
2. 増算金額	1,460,000円
3. 支給件数	158件
4. 支給場所	添付資料 ① に記入
5. 支給年月日	添付資料 ② に記入
6. 添付資料	①通院交通費支給精算書 ②病院別支給者通院交通費支給明細書

(報告者・・・釧路市)

添付資料 ①
通院交通費支給業務精算報告書

昭和63年度 上期分 支給場所・月日 総合福祉センター・10月23日

病 院 名	申請件数	通院回数	片道交通費	申請金額	支給金額
釧路市立病院	42	2,996	4,960	692,780	392,650
林田クリニック	25	1,679	2,910	381,520	216,210
釧路日赤病院	5	339	520	68,180	38,630
協立病院	6	456	630	95,680	54,210
釧路労災病院					
計	78	5,470	9,020	1,238,160	701,700

昭和63年度 下期分 支給場所・月日 福祉会館・5月4日

病 院 名	申請件数	通院回数	片道交通費	申請金額	支給金額
釧路市立病院	38	2,579	4,420	586,920	343,670
林田クリニック	25	1,628	2,870	420,580	249,670
釧路日赤病院	6	440	710	101,770	62,460
協立病院	10	690	1,260	162,750	96,360
釧路労災病院	1	47	110	10,340	6,140
計	80	5,384	9,070	1,282,360	758,300

合 計 158 10,854 18,090 2,520,520 1,460,000

- 釧路地方腎友会平成二元年度役員員
- | | | | |
|-------|------------|---------|------------|
| 会 長 | 上田 弘 (協立) | 会 計 | 東 哲司 (市立) |
| 副 会 長 | 竹内 昇 (協立) | 会 計 担 当 | 対馬美喜子 (林田) |
| 幹 事 | 掛札 聖 (林田) | | 菅田美津子 (市立) |
| | 長岡 久雄 (日赤) | | 中村 君江 (市立) |
| | 金井 英雄 (市立) | | 吉田 喜一 (市立) |
| | 木村 俊 (市立) | | 佐藤 信洋 (市立) |
| | 忠村 敏 (林田) | | 夏井美保子 (市立) |
| 事務局長 | | 会 計 監 査 | |
| | | | 馬淵タマ子 (市立) |
| | | | 大森 嘉直 (林田) |
| | | | 砂原 良子 (林田) |
| | | | 木口八重子 (林田) |
| | | | 鈴木 安男 (協立) |
| | | | 木村 勝幸 (日赤) |
| | | | 波佐谷純考 (厚岸) |
| | | | 赤神 幸雄 (市立) |
| | | | 池下 良一 (林田) |

佐藤信洋（市立病院 透析歴1年8カ月40才）

去る6月4日（日）に福祉センターで行われました総会について私の感じた事を述べたいと思います。

尚、その前に質疑応答の中で私の勘違い質問により議事進行を遅らせ、上田会長を右往左往させてしまった事をおわびいたします。

記

（1）釧路市居住者の交通費助成について

S氏より質問のありました“非会員にも助成すべきであり、昨年より釧路腎会の対応が何度も変更になっている”については、昨年の秋に身障者福祉センターで行われた臨時総会において私もS氏と同様の質問をしました。そのとき出席されていた釧路市福祉課担当者は次の様に回答しています。“今回、交通費支給の事務委託は腎友会にお願いしますが支給対象者は釧路在住者全員（つまり非会員も含む）です。”上田顧問（現会長）よりも支給に至る経緯の説明が次の通りありました。“居住している市町村より他の市町村の医療機関へ通院している場合には交通費を助成している地方自治体は多いが、釧路市の様に居住している市町村内の医療機関への通院交通費を助成しているのは全道（全国？）では初めてであり、助成を認めてもらうのに大変苦勞しました。”以上の話により非会員も申請する事により支給されるのは明らかであります。支給を認めてもらうまでの上田会長を初めとした役員の方々のご苦勞は並ならぬことではあったと思われま

（2）高橋市議（公明党）の顧問について。

S氏より質問の“腎友会の顧問が特定の政党ではまずいのではないか”については市議会議員クラスにイデオロギーは関係ないと思われま

いかにか腎友会の為に尽力していただけるかどうかであり、その点高橋市議は腎友会発足時より現在まで一貫して力になっていただき顧問としての資格は十分満たしていると思いま

（3）役員行動手当について

私が提案した役員行動手当の具体案は下記の通りです。

（A）会 長…毎月 1,500円（年間18,000円）

（B）副会長… 〃 700円（ 〃 8,400円）

（C）事務局長… 〃 1,000円（ 〃 12,000円）

尚、この支出は特別会計より行うのが良いと思われま

（4）腎友会の会報発行回数について

総会では2カ月に1回発行と言うことで承認されていますが、来年度からは3カ月に1回（年4回）に変更してはどうかと思いま

事務手間が大変かかり又、記事のサイクルも2カ月では短すぎると思いま

（どうしても急ぐものは“事務連絡”を使う様にす

全腎協の『分担金引き上げ』について、全腎協事務局ニュースに『全国会長会議』の内容が記載してありますので掲載します。是非とも、皆さんの考えを役員へお聞かせ下さい。

組織基盤強化と 分担金引上げ

分担金の引き上げに関する意見交換では、まず柳田財政部長から全腎協財政の経過と今後の予測の説明があり、油井会長から財政状況や厳しい情勢からみて分担金引き上げによる財政基盤と組織基盤の強化が必要との趣旨説明がありました。この後の討議では、分担金引き上げの是非、会財政の用途の方向性、事務局体制のあり方、事務局業務の省力化などについて意見交換が行われました。主な意見は以下のとおり。

- ☆過去の会議を基本に検討したが、予算の八五%が会議費、事務局費、人件費で占められ、活動費は一五%程度、内部的な見直しが必要。
- ☆組織率の向上を優先すべきだ。
- ☆分担金を引き上げて組織強化をしなければ今後の情勢の変化に対応できない。できる限り無駄を省くことは大切だが、分担金の引き上げはやむをえない。

☆会報の月刊化は会員のニーズに照らし合わせて必要がない。それよりも視力障害者の増加などから会報のテーパーの方にニーズが高まっている。

☆他の方法で（例えば事業活動など）で収入を得られないのか。

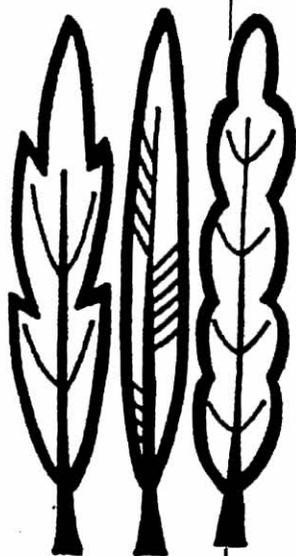
☆基本的には分担金の引き上げをせざるをえない財政状況だ。そのためにも全腎協が会員に対してなにをしていくのかをしっかりと知らせなければならぬ。

☆分担金引き上げに各県組織が財政的に対応できない。

☆今後、どのような運動を全腎協が進めていくのかを明らかにした上で財政問題を論議すべきだ。

☆全腎協は我々の「誓」だから守っていかねければならぬ。会報等で十分会員を納得させてほしい。

☆運営委員会では、この会長会議で提示された資料や論議をふまえて十月、三月の幹事会に向けて各県組織、ブロックで討議していただき、分担金引き上げの引継ぎ議論していくことを各県組織の代表者に提案しました。



【予告】

難病連の

福祉相談会

釧路市の『健康まつり』が九月八・九日の二日間行われます。それに合わせて北海道難病連釧路支部の『福祉相談会』を実施することを計画しています。

・年金に関すること
・障害者手帳に関すること
・生活・住宅に関すること
など、福祉全般について相談のある方は、今から準備をしておいて下さい。

- ①月日：平成元年九月八・九日
- ②場所：オリエンタルホテル
- ③相談は、事前の相談申し込みを必要とします。
- ④相談員は、ケースワーカー・保健所の保健婦さんをお願いする予定です。

注) 福祉バスを申し込んでいましたが、一泊旅行については十月二十一・二十二日に割り当てられ、腎友会では利用できなくなりました。よって、十月二十二日のバスは難病連釧路支部で患者交流会に利用する事になりました。

道東六六地区 交流会

道東地方の透析患者が集まって交流をする道東六六地区交流会は、今年度・釧路地方腎友会が幹事を担当することで行いますが、まだ具体的内容が決定されていません。

至急・役員会などで決定しますが、次のような日程で行われますので、各会員の方は予定に入れておいて下さい。

- ①月日：平成元年九月二三・二四日
- ②場所：阿寒湖畔・ホテル大東
- ③釧路ではバスの手配が出来ませんので、当日は自家用車を借り上げて行きますので早めに参加申し込みをして下さい。

今年度は釧路地方腎友会独自の一泊旅行

難病連

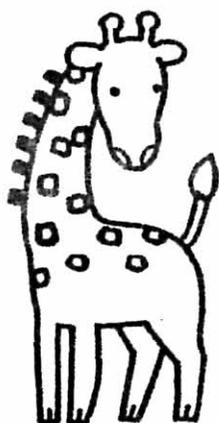
患者交流会

は行いません。一泊旅行は道東六六地区交流会だけになりますので、会員の数多くの参加をお待ちしています。
詳しい事は後日、事務連絡でお知らせします。ご期待下さい。

難病連釧路支部の患者交流会は、十月二十二日に行われます。

他の病気の患者さん方と接する良い機会ですので、数多くの会員が参加してほしいと思います。

行く場所は、阿寒町の『自然休養村』です。ゆっくり温泉につかり、楽しい一日を過ごしましょう。



《前号のつづき》

四月十三日

今日は自由行動の日だ。娘が、前の日に見つけておいてくれた国際ショッピングセンターに、親戚・友人達のおみやげを買いに行く。

午後からは海岸のホテルに移動する。ホテルに着くと、また、一人で探検をする。

ランの花が、ホテルのあちらこちらにいっぱいだ。中庭には池があり、魚が泳いでいる。プールもあり、とても大きく、きれいなステキなホテルだ。

夕食は、一人で会席・梅コース四千円を食べてみる。特別おいしいと思うものは、また、なかった。食事後、娘がプールへ行こうという。私は泳げないので気は進まないが、仕方なくつき合う。プールには、親子連れしかいなかったのが安心した。私はどうにか浮くだけで、『ジャボジャボ』子供の水遊びと同じだ。二時間くらい水遊びをして、部屋へ帰る。

そのまま寝るのはもったいないので、ま

た、スナックへ行く。体事を気にしながら飲物を注文する。



四月十四日

今日は、また観光バスで回る日だ。九時出発。始めは海中公園。船の底がガラスになっていて、海の中が見えるようになっていた。テレビで見た事がある、色の鮮やかな魚、シマシマのから、色とりどり沢山。これまた、『本物だ』……。

次はパイン園。作っている所はさぞおいしい、と期待していたのですが、食べてみると酔っぱくて、甘味も少なく、北海道のスーパーで売っている方が、ズ・・とおいしい。期待はずれ。買うのはやめにする。それから海洋博物館。これは、全部見て回ると一日はかかるとか。でも、私達に与

えられた時間はたった五十分。会場まで電氣バスに乗る。世界一の、ランの花の所だけしか回れない。残念・残念……。

次は東南植物園。これもまた時間は五十分。ハイビスカス・ブーゲンビリア、ほか沢山の色が鮮やかで、目にしみる。これは自分の目で見てみないと、話に聞いただけではだめ……皆様も是非、沖縄へ行ってみて下さい。生命がのびる感じがするよ。花の好きなき私は、何時間でも見ていたかった。時間が短くて、これが一番残念でした。

今日も三時より透析なので、病院へ向かう。私は、結構体重が増えていたので、終わり頃、血圧が下がり、苦しい思いをする。この病院の食事が豪華でデザートまでついてた。これは、北海道のお客さんなので、特別良くしらしい。

病院から、海のホテルまでは結構遠かった。八時過ぎホテルに帰ると、あまり遅いので娘が心配していた。さすがに今夜はおとなしく寝る事にする。

四月十五日

今日は、最後の自由行動で、海で遊ぶ日。朝起きて、一番先に外の天気を見る。ドンヨリ曇って、今にも雨が降りそう。寒くてどこも海に入れる天気ではない。娘が残念がって、おこり出す。私が天気を悪くした訳でもないにね……？

それで、雨が降らない内に、写真だけでも撮ろうと海へ出る。誰もいない、広い沖繩の海で、二人交替で写真を撮り、サンゴを拾ってホテルに入ると、待っていたように雨が降り出して来ました。

午後一時、市内のホテルへ帰る。今夜は最後なので、また、みんなで食事をします。

ビーチステイキに伊勢海老。豪華なメニューで皆満足した様子。

五日ほど一緒に行動したので、食事後、町へ遊びに出る事にする。

九時、行く人集合。ちょうど十人でした。添乗員さんが『今夜は二次会まで行きますよ。一次会はカラオケ、二次会はディスコ』。三台のハイヤーに別れて乗る。カラオケスナックは小さな店で、あまりきれいな所ではなかった。皆、やはり体重を気にして、飲んでいる人はいなかった。十二時頃まで

いて、次はディスコ。歳の人も『みんなまで行けば怖くない』……なんちゃて……。

薄暗いので、歳も顔もわからない。十人皆で踊る。私はディスコは始めて。適当に体を動かす。疲れた人から席に戻り、ひと休みしてまた踊る。皆、凄いいスタミナだ。健康人と変わりは無い。四・五人の方は汗ビッシヨリになり、一人の方が『私達は何なんだろうね……これでも患者なんだろうか』と。楽しくて誰も帰ろうと云わない。明日は朝七時過ぎに帰るため、ホテルを出なくてはならないのね……。

それでも、一時過ぎ帰る事にする。雲曲気としては、朝まで居たかったね。今日は一番遊んだね……。



四月十六日

朝七時過ぎ、ホテルを出発する。八時十分、那覇空港とお別れをする。長いようで短かった楽しい六日間でした。午後一時半、札幌駅に着く。皆様と『元気だね……さようなら……』。

私の感想としては、最後の海で遊ぶ日が、天気が良かったら最高の旅でした。それが残念です。それから、沖縄には季節感がありません。

木々は年中緑で、紅葉する事はないとか、雪も見た事がない人が多いとの事。それと、水不足で水が思うように使えない事。

日頃、お風呂屋で、水をジャンジャン使っている私は水のない所では暮らせないな……と。それに、私はやはり季節がはっきりしている北海道が一番いい。『住めば都』ですね。

でも、観光で行くのは、沖縄は良い所です。皆様も是非、一度行って見て来て下さい。



藻深琴ヶ山登山

平成元年七月九日・晴天

今年も賢友会行事の一つである登山が去年と同じ藻深琴ヶ山で行われました。

参加した仲間が、それぞれの家族・友人をさそい、総勢五十名に達しました。

時間もありなく、着いてすぐ登山開始です。まずは最初の目的地である『銀嶺水』の湧き出る休憩所までの一步を踏み出しました。

スイスイ登って行く人、五十メートルも行かないうちに音を上げる人、一步一步確実に歩を進める人、など色々でしたが、皆自分の体力・体調に合わせて頑張って登っている様子でした。

この日はとても暑く、体中から汗がふき出る様な感じで、頭の中はもう『水・水・水』

水がおいしかった。(林) 水がおいしかった。(林) 水がおいしかった。(林)

水・銀嶺水』でいっぱいだったと思いません。

今回参加した人は、この水を求めて参加した人が多く、なにがなんでも水の湧き出る所まで行く、という感じで必死で歩いていました。

ようやく休憩所にたどり着くと、皆もう一目散に湧水に飛びついて行き、頭から水をかぶる者や、蔭の葉に水をすくい飲む人、うがいする人等、思い思いにこの水を満喫している様で、とにかくおいしい水でした。

ひと休みした後はいよいよ頂上までの挑戦です。

時間も余りなく確実に登れそうなの、二十数名が頂上を目指し、暑い中フワフワ言いながら全員が登り切りました。

帰りは弟子屈温泉に直行し、今日飲んだ水の話やつらかったこと等、和気あい

あいに語り合いながら汗を流し、ひと休みして帰路につきました。

今回参加された皆様、ご苦労さまでした。来年も参加できるよう、日頃から体調に気をつけて、元気で毎日をおくって頂きたいと思えます。

また、今年もこの登山に協力して下さいました。林田クリニックの幡長さんはじめ、看護婦の鈴木さん・宮部さん、テクニシヤンの佐々木さん、そしてハイキング・クラブの鈴木さん、有難うございました。

皆さんの協力のおかげで、今年も無事登山を終える事ができ、会員一同感謝にたえません。本当に有難うございます。

又、今回参加出来なかった会員の方々来年は一緒に参加し、感激を味わいましょう。

七月九日は、私のたんじょう日の山登りが楽しく思えました。途中で水と、帰りのスイカがたんじょう日プレゼントです。最善な登山になりました。(林)

初めての参加ですが、今日一日楽しく過ごさせて頂きました。皆様の元気な事にはびっくりしました。もう少し体力を付けて来年度も参加したいと思っております。(林)

未永日出夫(林)

皆さんの協力のおかげで、今年も無事登山を終える事ができ、会員一同感謝にたえません。本当に有難うございます。

又、今回参加出来なかった会員の方々来年は一緒に参加し、感激を味わいましょう。

七月九日は、私のたんじょう日の山登りが楽しく思えました。途中で水と、帰りのスイカがたんじょう日プレゼントです。最善な登山になりました。(林)

初めての参加ですが、今日一日楽しく過ごさせて頂きました。皆様の元気な事にはびっくりしました。もう少し体力を付けて来年度も参加したいと思っております。(林)

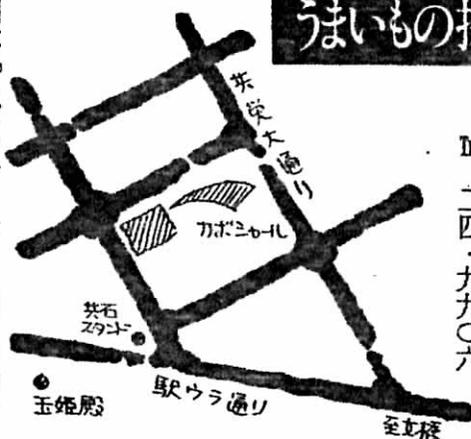
未永日出夫(林)

事務局

わが街 探望の味

カボシヤール

鋼路市白金町二十二の七
電話 二四・九九〇六



今回は『カボシヤール』と云うお店を紹介します。

場所は駅裏のサンピア手前にあります。カレーとハンバーグを得意としております。特にお勧めメニューは『カツレットカレー』と『ハンバーグカレー』です。ポリュームたっぷり腹一杯になります。

お店の中は落ち着いた感じで、『カウンター四席』と『テーブル六つ』で二十

六名まで入れます。開店したのは昭和六十一年四月だそう

です。昼はサラリーマンの方が、夜は若いカ

ップルなどが多いそうです。

『カボシヤール』というのは、フランス語で『いじっぱり』という意味だそうです。

営業時間は午前十一時三十分～午後九時三十分まで。

定休日：毎週木曜日です。『ヨロシク』お願いします。

このお店は、辛さが一番～五番まであり、初心者向きは一番とか、大辛さん二番とか辛さの度合で注文が出来ます。

ちなみに一番はカレーの好きな方なら全部食べれます。

一番は十人中七人位の方が全部食べれます。

二番～五番は一回食べて辛さを知っている方は『二度と食うか』と心に誓う程のカレーです。

一番～四番まで全部食べると『アイスクリーム』がプレゼントされます。

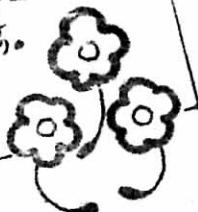
五番を全部食べると『アイスクリーム』と記念品がもらえます。

カボシヤール



原稿募集

みんなの機内紙「せんちょう」!!
お気軽に原稿をお寄せ下さい。
お待ちしております。
何んでもOK!!
編集室



腎献
— 愛と健康の贈り物 —

全腎協制作
テレホンカード

ご希望の方は各病院の幹事さんへ
申し込み下さい。一枚／八〇〇円

全腎協

Challenge

74

トラベル
クロスワ
ード

解き方

各マスにカタカナを一文字ずつ入れてください。最後にローマ字のあるマスの七文字をABC順につなぐと、答えの言葉がでます。

ヒント

若者たちが大にぎわい。



1	ク	2	3	4	5	
		6		ケ		7
8	9				10	B
			11		12	サ
13					14	
15	ナ	A		サ	16	リ
		17		18		19
20				21		タ
						F
						E

お詫び
六月号のクロスワードクイズの答えは『ユースホテル』のところ、『ユースホテル』になってしまいましたのでお詫び申し上げます。
なお、答えは両方とも正解としました。
応募数十五名の中から、厳正な抽選の結果、次の十名の方、当選おめでとうございます。

藤原修二(市立) 佐藤 慶(厚岸)
外崎芳江(市立) 坂野 ミツ子(厚岸)
花輪邦子(日赤) 大平 ヒデ子(厚岸)
竹浪ひろみ(林田) 吉田 勝(厚岸)
竹井靖子(林田) 加藤 マサ子(厚岸)

◎下記応募用紙に答えを記入し、下記編集部まで・・・

正解者の中から抽選で、10名様に記念品を贈ります。

◎正解、当選発表は10月号で。

◎締切は、9月30日(土)必着・・・

◎宛先は、釧路市新富町1-7
林田クリニック内
釧路地方腎友会編集部まで。

タニのカギ

- ①ネクラもひどいもので、彼の性格の——は困ったもの。
- ②ハイオリンの仲間だけじゃ、ちよいと大きい。
- ③体重3〜4トンにもなる大きな動物です。
- ④とにかく政治家がからんで、一もつけするようでした。
- ⑤一人用の部屋です。
- ⑦ないへんに細かく降る雨。

- ⑧沿岸の砂地に生えるバラ科の植物で、いいにおい。
- ⑨カエルの中でいちばんいぼっているのが——ガエル。
- ⑩まぶさにできる小さなはれもの。
- ⑪料理のときに使う板。
- ⑫美人の歩く姿にたとえられる花です。
- ⑬インソップでおなじみの「——とギリギリス」のお話。
- ⑭親方が養成する。
- ⑮鱈水があつたり、「コイガ泳いでいたり。

ヨコのカギ

- ①毎日泳いでいたので、見ろよ肌が——しているぜ。
- ②こわい思いをするために、入場料を払う人もいます。
- ③世界最大の——砂漠。
- ④サオをかついて行く風味。
- ⑤シェークスピアの喜劇です。夏の夜のお話。
- ⑥ご用邸もある避暑地。東北新幹線でどうぞ。
- ⑦木がいっぱい生えています。
- ⑧ここには女のお坊さんばかりがいます。
- ⑨黒メガネの人気タレント。
- ⑩しい、くぬぎなどの枯れ木に生えるキノコ。

氏名	病院名	A	答
		B	
		C	
		D	
		E	
		F	
		G	

◆新入忠志者◆

高橋 フミエ

川上郡

川向 秀男

釧路市

田中 葉子

釧路市

山下 憲雄

釧路市

倉 菊枝

釧路市

藤原 久雄

釧路市

南 諄子

釧路市喜多町

岩見 よし

釧路市

長谷川 賢三

釧路市

大滝 泰子

釧路郡釧路町

木沢 敏明

釧路市

狩野 豊広

根室市

大山 嘉七

阿寒郡阿寒町

石井 ユキ

阿寒郡阿寒町

栗野 由美子

川上郡標茶町

土井 勇

釧路市

◆新入会員◆

高橋 フミエ (市立)

田中 葉子 (市立)

木沢 敏明 (林田)

有岡 砂智子 (日赤)

及川 淑子 (日赤)

岡本 順一 (市立)

鈴木 レイ子 (市立)

南 諄子 (市立)

小田桐泰通 (協立)

八月より会員

◆死 亡◆

大内 昌訓 (林田)

梶本トモエ (日赤)

斎藤 康行 (林田)

平成元年八月死亡

会費は賢友会への運営資金です。早目に納入しましょう。